

高崎市等広域消防局からのお知らせ

高温・多湿となる時季
低圧進相コンデンサの火災
に注意してください！



長期間使用している低圧進相コンデンサには、出火の危険性があります。

高崎市等広域消防局管内でも、低圧進相コンデンサに起因する火災は、ほぼ毎年発生しており、そのほとんどが高温・多湿の時季に発生しています。

特に、1975年（昭和50年）以前に製造された低圧進相コンデンサは、保安装置が内蔵されていないため、出火の危険性が更に高くなります。



破裂し、出火した低圧進相コンデンサ



長期間使用した低圧進相コンデンサは、絶縁劣化が進んでいるものが多く、発熱しやすい状態となっています。高温・多湿という悪条件が重なり、膨張し破裂、内部でガス化した絶縁油が噴出し出火します。

低圧進相コンデンサの火災を防ぐためには？

- 機器を使用していないときは、メインブレーカーを切る。
- 1975年（昭和50年）以前に製造された低圧進相コンデンサは、保安装置付きの新しいものに交換する。
- 保安装置付きであっても、設置から長期間を経過（10年を目安）したものは、専門業者による点検や、場合によっては交換を依頼する。